

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策

## 事業名 外国人患者受入環境整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療企画係 電話番号：058-272-1111 (内 2534)

E-mail： c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,400千円 (前年度予算額： 2,400千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,400	0	0	0	0	0	0	0	2,400
要求額	2,400	0	0	0	0	0	0	0	2,400
決定額		0	0	0	0	0	0	0	

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・本県における在留外国人数は、60,206人(令和元年12月末時点、前年比9.1%増)と増加傾向にあり、外国人患者の医療機関への受診も増えている。また、現在のコロナ禍にあっては、在留外国人の新型コロナウイルス感染事例も発生しており、医療機関において多様な言語に対応する必要性が一層高まっている。
- ・しかしながら、医療機関にとって全体的には外国人患者は少数であり、多様な言語に対応することはコスト面からも困難なことから、医療通訳の積極的な雇用や外国語に対応するサービス導入が行われにくい。
- ・医療現場におけるコミュニケーションの不足は、診療時間を長引かせるのみならず、感染症感染など医療事故の原因にもなりかねない。医療従事者が診療等に専念できるよう医療現場の勤務環境を改善し、全ての住民が安心して医療サービスを受けられる環境の整備を支援する必要がある。

## (2) 事業内容

### 【対象経費】

- ① 新たな医療通訳の雇用に係る人件費（試用期間を含む。）
- ② 医療通訳サービス等の導入に係る経費

【補助対象者】 病院

### 【補助率等】

- 補助率：1 / 2
  - 補助基準額：①については、1,200 千円  
②については、1,200 千円
- ※ 1 病院当たり総額 2,400 千円が補助基準額の上限額となる。

## (3) 県負担・補助率の考え方

外国人患者の受入環境整備に対する補助は、医療機関における負担を求め、補助率 1/2 とする。実施期間は最長 3 年までとする。

## 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,400	・ 医療通訳を雇用・育成する経費への補助（600 千円×2 病院） ・ 医療通訳サービス等の導入経費への補助（600 千円×2 病院）
合計	2,400	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・ 「清流の国ぎふ」創生総合戦略（施策編）
  - 1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり
- (2) 誰もが活躍できる社会

医療通訳ボランティアの育成・確保を進めるほか、市町村や医療機関等と連携し、外国人患者の受診体制の整備を推進する。

## 県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	外国人患者受入環境整備事業費補助金
補助事業者（団体）	病院 （理由）外国人患者受入機関である。
補助事業の概要	（目的）外国人患者の受入環境を整備する。 （内容）医療通訳者の雇用、医療通訳サービスの導入に対する補助
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他（例：人件費相当額） （内容）補助率 1/2 （理由）医療機関における負担を求める。
補助効果	外国人患者の受入環境整備によって、全ての住民が安心して医療サービスを受けられる環境整備が図れる。
終期の設定	終期 令和 3 年度 （理由）終期が未設定のため

### （事業目標）

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

医療通訳の雇用等、外国人患者の受入環境整備によって、円滑な診療及びコミュニケーションを促進し、全ての住民に安心・安全な医療提供体制を整備する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H**年度末)	目標 (R2 年度末)	目標 (終期)
① 補助金を交付した病院数		4	4
②			

	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度 (要求)
補助金交付実績	1,257 千円	1,518 千円	924 千円	(予算額) 2,400 千円	(要求額) 2,400 千円
指標①目標	5	5	4	4	4
指標①実績	3	4	4	(推計値) 4	(推計値) 4
指標①達成率	60%	80%	100%	(推計値) 100%	(推計値) 100%
指標②目標					
指標②実績				(推計値)	(推計値)

指標②達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %
--------	---	---	---	------------	------------

(前年度の成果)

外国人患者の受入環境の充実及び病院内の勤務環境の改善

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項  
事業終了後の継続的な雇用等

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</p>	
(評価) ○	医療現場におけるコミュニケーション不足は円滑な診療を妨げるが、医療機関にとって日本語の理解が不十分な患者は少数であり、医療通訳の積極的な雇用等が行われにくい状況であることから、県による支援が必要である。
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価) ○	新たに医療通訳の雇用や医療通訳サービスの導入をする病院があり有効
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</p>	
(評価) ○	医療機関における、単独での医療通訳の雇用等が行われにくい状況であるため効率的。

(事業の見直し検討)

外国人患者の受入環境整備を更に推進するため、引き続き支援を行う。

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止  
(理由)